

# 公益社団法人だて青年会議所 2017年度年間活動報告



(公社)だて青年会議所  
2017年度広報だてJC  
Web版 発行第3号

2017年度 スローガン

## 青雲の志

～だての未来を切り拓く人材となれ～



### 2017年度 理事長挨拶



2017年度  
第37代 理事長  
阿部 真吾

2017年は「青雲の志 ～だての未来を切り拓く人材となれ～」をスローガンに掲げ、1年間だて地域の発展のために歩みを進めて参りました。我々が運動を展開していく中で、行政機関の方々をはじめ各種関係団体の皆様に多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

7月には「第47回福島ブロック大会」がだての地で行われ、大会記念事業として「だての魅力探検隊」、夜の街を舞台にした「ちどり足り～inだて」を市民の皆様とともに開催させていただきました。いずれも各地域の協力がなければ為し得なかった事業です。こうして地域が一体となって大会を開催することができたことは、必ずや5年後、10年後のだて地域の持続的な活性化へ繋がるものと思っています。また、我々だて青年会議所のメンバーにおいても、今後もこうした経験を積み重ね、それを自信に変え、だての未来を切り拓く人材へと成長していけるものと確信しております。これからも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

# 事業報告

4月事業

## コミュニケーション能力向上研修会

ファイナンシャルプランナーとして全国で活躍する講師の方を招き「コミュニケーション能力向上研修会」を開きました。

一生懸命話したつもりでも実は伝わっていなかった、伝えたつもりが認識に違いがあったなど、「伝える」と「伝わる」の違いを例に、仕事や私生活でのコミュニケーションの悩みの解決策を探ろうと多くの会員が参加しました。

研修会では人の心を動かす方法として、様々な手法なども紹介されました。行動心理を活用することによって聞き手の意識が話し手に向きやすくなり、より相手に伝わりやすくなることもあるそうです。ただし、あくまで手法はコミュニケーションの手助けであり、人と人の繋がりでなによりも一番大事なことは「愛情と情熱をもって相手に接すること」であると学びました。

市民の方々と協力しあい理解を深めていくために、今回学んだことを今後の事業に活かしながら、ひとつひとつ取り組んでいきたいと思います。

志士研鑽の創務委員会



6月事業

## 郷土愛創出プロジェクト Go to いちご狩り

伊達市霊山町山戸田地区のいちご農園にて、いちご狩りを開催しました。身近な特産品に触れながら、子ども達が家族の絆を深めるために始めたいちご狩りも今年で3回目を迎え、市内外から700名を超える家族連れがお越しになりました。

いちご農園では参加者がそれぞれに真っ赤に色付いたいちごを手に取り、大きな実を見せ合いながら口いっぱい頬張って採れたての美味しさを味わっていました。また、受付会場である茶臼の里ではボルダerlandや地元の工芸品の体験ブース、手作りおにぎり・野菜の直売所も出店し、小さな子どもから大人まで、会場は笑顔と笑い声に包まれました。伊達市の高校生や首都圏の大学生も運営に協力いただき、地元の農家さんや市民の方々と交流を深めることもできました。

特産品の成り立ちに触れることで、ふるさとをより身近に感じてもらう機会となり、また家族の思い出のひとつとなったと思います。ご参加、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

志士研鑽の創務委員会



7月事業

# 第47回福島ブロック大会 in だて

7月8日・9日の2日間にわたり「第47回福島ブロック大会 in だて」がだての地にて開催されました。

『ともに夢を描こう 自立した魅力溢れる「ふくしま」へ!』をスローガンに掲げ、日頃のJC活動の集大成としてメンバー一人ひとりがそれぞれに汗を流しました。

7月8日、伊達市ふるさと会館において今大会の記念式典が厳粛かつ盛大に執り行われ、だて地域内の各首長をはじめ、県内各地より多くのご来賓に出席いただきました。主催者である（公社）日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、成田会長より御礼の言葉が述べられ、また伊達市長より歓迎と御祝いのご挨拶をいただきました。県内19の青年会議所より500名を超えるメンバーに参加いただいた式典は、「市民とともに創り上げる大会」を目指すブロック協議会の運動発信の良き機会となりました。

ブロック大会特別委員会



## ◆ だての魅力探検隊



「第47回福島ブロック大会 in だて」における記念事業として伊達市、国見町、桑折町の歴史・伝統・文化・食の魅力を発見するエクスカージョン「だての魅力探検隊」が行われました。

各ファンクションには同時にスタンプラリーも設置し、集めたポイントによって最後にメイン会場にてガラポン抽選ができる運びとなっております。

両日ともに35度を超す今年一番の猛暑の中、小さいお子さんを連れた家族からお友達とおしで来られた方、そして県内のJCメンバーとたくさんの方に参加していただきました。



それぞれの体験に向かうバスに笑顔で乗り込む子どもたちが帰ってくるときにはそれ以上の笑顔で降りてくる姿がとても印象的でした。

桑折町の桃狩り、霊山町のパン作り、月舘町の流しそうめん、梁川町の歴史めぐりなど、私たちも自身もこの事業によってあらためて地域の魅力を再発見する良い機会となり今後のまちづくりにさらに活かしていきたいと思いました。

2日間にわたりご来場いただいた皆様、そしてご協力いただいたOBの先輩方、諸団体の皆様に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

ブロック大会特別委員会



## ◆ ちどり足らり～inだて



8日の夜には保原の夜の街を舞台に飲んで食べて歩いて巡る「ちどり足らり～inだて」が行われ多くの県内JCメンバーはもちろんのことたくさんの市民の皆さんにも参加していただきました。またメイン会場となった保原チンチン電車前広場にはだて地域各地のD-1グルメやアーティストの石崎ひゅーいさんによる音楽ライブもあり大いに盛り上がりました。

だての地では14年ぶりに行われたブロック大会でしたが準備の段階から多くのOBの先輩方の力を借り、また各地域の団体や施設、飲食店の方々に協力をしていただき成功を収めることができました。ご参加いただいた市民の皆様へ心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ブロック大会特別委員会



8月事業

# だてな太鼓まつり

8月20日(日)、保原総合公園にて「だてな太鼓まつり」を盛大に開催しました。今年は雨が多く、足元が悪い中での開催となりましたが、県内の帝京安積高校、福島県立塙工業高校、福島県立相馬高校の太鼓部の生徒による演奏や伊達市内の幼稚園・保育園の園児によるステージ発表、パンダライオンなどのアーティストによる音楽ライブなどもあり、お年寄りから小さい子供まで、男女問わず多くの来場者が会場に足を運んで頂きました。また、事業を通して多くの子供たちや学生ボランティア、飲食店や関係諸団体、行政に至るまで、だて地域に住む市民が結束して成功させたこの事業は、約4万人の方にご来場頂いた結果となりました。ご協力頂いた関係者、ご来場して頂きました市民の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

だて PRIDE 委員会



8月20日に保原総合公園で開催された「だてな太鼓まつり」において、約50店舗の飲食店や市民団体が出店ブースを構え、「だてなグルメの祭典」を行いました。その中から、本年「D-1グランプリ2017」にエントリーしたのは約30店舗。本年の参加条件としてこれまでの「だての食材の使用」に加え「形状からだて地域をPRできる商品」とすることでD-1エントリー商品の質の向上を図り盛大に開催することができました。また同商品を他イベントや店舗で販売することを参加条件に含み、新たなだてのグルメを継続的に周知しております。



見事入賞された店舗にはステージ上での表彰があり、賞金やのぼり旗などが贈られます。時折雨が降り客足に少しばかり影響があった模様ですが、このD-1グランプリも6年目を迎え市民に認知されていることもあり、夕方の出店ブース前は多くの来場者で埋め尽くされ、大盛況のうちに幕を下ろすことができました。ご参加いただいた来場者の皆様、そして出店にご協力いただいた地域の方々に感謝申し上げます。

だて PRIDE 委員会

# だてな太鼓競演



8月20日(日)、保原総合公園にて開催された「だてな太鼓まつり」において、だて地域各地から太鼓関係団体15団体が集結し、一同に太鼓を演奏し披露する「だてな太鼓競演」を開催しました。昨今の少子化に伴う地域コミュニティの希薄化により、各地の伝統芸能や太鼓の技術を伝承する次世代の子供たちが減少し、かつて賑わいに影を落とす地域も少なくはありません。だての未来を担う子供たちに伝統文化を守り伝えることは、故郷



に対する誇りと愛着をもたらすものであり、世代間交流による地域住民の連帯感の醸成にも繋がります。当日は、昼の部と夜の部の二部構成で各地に伝わる伝承太鼓をご披露頂き、改めて各地のPRと、太鼓を通して地域の伝承太鼓を発信して頂きました。昼の部では、冒頭に「和太鼓蝉創」による勇壮な太鼓がステージで披露され、夜の部では、今回初の試みとなる霊山太鼓との同時打ちを行いました。全ての太鼓が一同に披露されると、今までにない太鼓の音色が会場外にまで響き、会場全体が一体感で包まれました。



「だてな太鼓競演」は、多くの太鼓関係団体のご協力で成功に収めることができたと思っています。ご来場いただいた市民の皆様、そしてご参加いただいた太鼓関係団体の皆様に感謝申し上げます。



だて PRIDE 委員会

# もも鯉! 桃源郷プロジェクト



7月に行われた第47回福島ブロック大会 in だて、8月に行われただてな太鼓まつりの会場内に、桃源郷に見立てたももの木を作成し、だて地域の子供たちに協力していただき、鯉のぼり型のピンクのプレートに「だて地域への愛郷心」というテーマに基づき「自分の住んでいる地域の好きなどころ」や「自分の住んでいる地域の自慢」を書いて展示しました。

また、だてな太鼓まつりではピンクの照明でももの木をライトアップし、だての桃源郷を映し出しました。

この事業では、地域の子供たちと、その周囲の市民と共に活動を共有することにより、市民の描く未来を知り考える機会の創出を目的に実施しました。

旧7町を一つのだて地域として認識されるためには、子供たちや地域住民の郷土愛を捉え、市民が一丸となり未来へ繋げる機会が必要と考えます。

だて地域の子供たち、約7,100名の「だて地域の愛郷心」を多くの市民が熱心に見入っていました。

だて PRIDE 委員会



9月事業

## 新入会員セミナー

9月7日、保原町にて「新入会員セミナー」を開催いたしました。今年も新しい仲間がだて青年会議所に入会し、頼もしい限りです。

青年会議所の成り立ちや仕組み、活動を一から学ぶことにより、新入会員にとってこれからの活動や各役割などについて理解を深めました。また、現役メンバーからの体験談や全国に仲間がいることなどを聞き、新入会員としての不安なども話し合いながら、青年会議所とはどういう組織なのか、どうあるべきなのかを学びました。

だて青年会議所のメンバーとして改めて私たちの活動の意義を再認識し、市民の皆様と交流を深めながら、より一層実のある運動・活動に尽力していきたいと思います。

志士研鑽の創務委員会



11月事業

## 第47回 ブロック大会事業報告会



11月事業として、7月8日・9日の2日間にわたり「第47回福島ブロック大会 in だて」を開催した、報告会を例会の中で行いました。この大会を主管した経験を、次の運動・活動につなげていくためにだて青年会議所内で情報を共有し大会の開催の意味を再認識できました。事業の中では、主催である福島ブロック協議会の事業や式典の内容を映像に含め説明し、記念事業、ちどり足り〜では関係団体の取り組みや参加人数など当日撮影した写真を用いて情報の共有を行いました。説明した内容に、当日参加された皆様から頂いたアンケートの結果も含め今後の運動に繋げていけることができたと思います。

ブロック大会特別委員会

12月事業

# 事業報告会

12月5日（火）保原町産業会館2階大研修室にてOBをお招きし、報告会を開催しました。2017年度はブロック大会特別委員会、だてPRIDE委員会、志士研鑽の創務委員会と3委員会に分かれ、ブロック大会 in だて、だてな太鼓まつり、Go to いちご狩りなど、多くの事業を展開し、多くの支援を頂いたOBの皆様の前で事業報告を行いました。

だてPRIDE委員会



## 7町 例会 報告



本年の例会は昨年に引き続き、だて青年会議所の活動エリアでもあるだて7町を巡り、メンバー間で各町の情報を共有し、地域との繋がりを深めました。

例会は実際にその各町で実施し、各町の地域資源を活用した取り組みについて調べた内容を担当グループがプレゼンテーションし、情報共有と共に自己研鑽の機会としました。

メンバーの工夫も多く、動画の撮影や編集、ドローンでの撮影、クイズ形式などの趣向を凝らし、メンバーが楽しみの中でしっかりと自分たちの住んでいる地域のことを知る良い機会となりました。

事務局



2月	7町例会	in	伊達
3月	7町例会	in	梁川
4月	7町例会	in	月舘
5月	7町例会	in	国見
6月	7町例会	in	桑折
9月	7町例会	in	霊山
10月	7町例会	in	保原

# 新入会員紹介



司法書士ひなた事務所  
上杉 兼也

本年度入会いたしました上杉です。自己成長のため自分ができる範囲でJC活動に取り組み、その自己成長の結果が地域貢献へとつながればいいと考えております。また、入会前にできなかったことが、入会后様々な経験を通してできるようになるのは楽しいです。よろしくお願いいたします。



(株)草原社  
赤間 佑太

今年度より入会いたしました、赤間です。保原町で洋菓子店を営んでおりますが、これまで業界外との関わりが殆どなかったため、青年会議所の活動を通じ、JCの仲間や地域の方々と様々な事業を行っていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



福島民友新聞社県北支社  
國井 貴宏

だて青年会議所に迎えていただき、ありがとうございます。一員として地域発展のため情熱を持ち、自己研鑽を積みながら、自分にできることを実行していきます。微力ではございますが、お役に立てるように努力します。よろしくお願いいたします。



福島信用金庫保原支店  
寺内 貴寛

今年度入会した福島信用金庫の寺内貴寛です。JC活動を通じて、様々なことを学び自己成長に繋げ、仕事や私生活などに活かしていければと思っています。よろしくお願いいたします。



(株)東邦銀行保原支店  
安藤 誓士

仕事の都合上、卒業まではお世話になる事は出来ないかもしれませんが、所属している間、JCでの活動を通して、自己研鑽し、地域の活性化に務めて参りたいと思います。宜しくお願い致します。

## なかま募集!

修練・奉仕・友情  
よりよい「だて」をめざす。

- 資格  
20歳から37歳までの方
- 問い合わせ先  
事務局  
TEL: 575-1554  
FAX: 575-5064  
E-mail: date.jc681@siren.ocn.ne.jp



私達と共に活動しませんか? 明るく豊かな地域を創造するために!



(公社)だて青年会議所

事務局 / 〒960-0612 伊達市保原町字宮下111-2  
TEL: 024-575-1554 FAX: 024-575-5064  
Mail: date-jc@siren.ocn.ne.jp  
HP: www.jc681.com

## 次年度理事長挨拶



2018年度  
第38代 理事長  
山田 愛

2018年度、当青年会議所理事長を務めることになりました山田愛と申します。まずは、昨年だての地で開催しました「第47回福島ブロック大会」では私たちの活動エリアである伊達市・国見町・桑折町の市民の皆様、行政、そして多くの関係団体の皆様にご尽力いただき、共に素晴らしい大会を創り上げることができました。改めて感謝申し上げます。そして私達が多くの市民、行政の皆様を支えられていることに気付かされる機会をいただいたと感じております。今年度は地域から受けた恩に報いるべく、今まで以上に地域のために互いに切磋琢磨しメンバー一人ひとりが情熱を持って青年会議所運動に取り組み、愛するふるさとだての明るい未来を創造してまいります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 現役メンバー紹介

 理事長 株式会社 伊達丸 阿部 真吾	 直前理事長 株式会社 伊達丸コーポレーション 菅野 謙	 副理事長 株式会社 丸和保原タクシー 寺島 大樹	 副理事長 株式会社 水口家具センター 水口 照章
 専務理事 ㈱グリーンすぽっとすし辰 山田 愛	 事務局長 認定こども園大田 海老原 嗣	 事務局次長 セブイレブン保原1丁目店 滝澤 由希	 出向理事 ㈱高田木型製作所 高田 祐太
 出向理事 齋藤電建工業㈱ 齋藤 貴	 志士研鑽の創務委員会 委員長 菊池総合事務所 菊池 研	 副委員長 パティスリー La 4区 渋谷 郷美	 委員 KEIMARU㈱ 清水 恵介
 委員 福島民報社伊達支社 笹越 寛人	 委員 ㈱東邦銀行保原支店 安藤 誓士	 委員 司法書士ひなた事務所 上杉 兼也	 委員 Bオート 稲垣 勉
 ブロック大会特別委員会 委員長 ㈱大石ガラス店 大石 洋介	 副委員長 ㈱宮口工業所 宮口 剛	 副委員長 八巻石材工業㈱ 八巻 広史	 委員 大工のさとう 佐藤 瞬
 委員 ㈱ベストワーク 小野 翔太	 委員 ㈱PAINT-K 菅野 敏寛	 委員 ルームインテリア 大河内 政志	 だて PRIDE 委員会 委員長 ㈱松葉園 大橋 松太郎
 副委員長 引地工務店㈱ 引地 聡	 副委員長 ㈱渡辺工務店 渡邊 一紘	 委員 ㈱ユー企画創建 齋藤 裕巳	 委員 ECC ジュニア西の内教室 大内 はるか
 委員 大扇 小林 信行	 委員 福島信用金庫保原支店 寺内 貴寛	 委員 福島民友新聞社東北支社 國井 貴宏	 委員 ㈱草原社 赤間 佑太